大阪市立 田辺小学校

- ●所 在 地　田辺2−3−34
- ●電話番号　06−6622−0401
- ●HPアドレス　https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741692
- ●校　　長　山本　隆
- ●標 準 服　あり
- ●集団登校　あり

学校概要

明治６年の創立以来、田辺地域の方々は町や学校の発展を願って、多くの努力をはらってこられました。その心根にあるのが「町を愛する心」や「人を愛する心」にほかなりません。人情味豊かで、助け合う心の厚い田辺地域の美風は、今も地域の方々や田辺小学校の子どもたちに脈々と受け継がれています。「田辺小学校」といえば「水泳」と答えがすぐに返るほど、田辺小学校は水泳指導で有名な学校です。大小２つのプールがあり、ステップ別の学習を取り入れた授業で、子どもたちは自分の課題に合わせたコースで泳力を高めていきます。６年生は50mプールにて１kmの遠泳に挑戦します。その達成感と仲間との連帯感は、子どもたちにとって何事にも代えがたい貴重な経験となっています。

運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- ●小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ●令和７年度の児童アンケートにおいて、「相手のことを考えて行動することができる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ●小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。
- ●スポーツテスト「20mシャトルラン」の結果において、１回目の平均値より２回目の平均値を向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ●授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ●学校図書館の年間貸し出し冊数を一人40冊以上にする。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	104	119	107	102	93	116	641
学級数	3	4	3	3	3	3	19
特別支援学級							8

全国学力・学習状況調査結果（令和６年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国　語	算　数
平均正答率（%）	71	67

全国学力・学習状況調査において、令和６年度の結果は国語、算数ともに全国平均を上回る結果となった。これは「学習規律を大切にした学習環境」や「国語、算数を中心とした課題解決学習」などの取組の成果と言え、学校全体として比較的高い学力の維持につながっている。しかし、取組をすすめていく中で自分の思いや考えを伝えるのが苦手な児童がいたり、授業で考えたことを生活にいかしにくい児童がいたりするなど、新たな課題が見えてきた。そこで今年度より「自分の考えを持つ」「自分の考えを友だちに表現する」「学びをいかす」を学習活動の中心に据えることで、主体的・対話的で深い学びのできる児童の育成をめざしていくこととした。そしてこの取組により、一斉指導の中では、理解するのに時間が必要な児童やきめ細かな支援を必要とする児童も自分の考えをもち、友だちと伝え合うことできると考える。学校として、誰も取り残されることのない学びをめざしていきたいと考える。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和６年度）

※全国・大阪市の平均については P12 を参照

	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
種目別平均値	男子	13.38	20.71	38.78	39.69	46.00	9.60	139.71	18.92	51.16
	女子	14.08	20.28	39.78	41.60	38.48	9.90	137.57	11.51	54.58

本校は「水泳田辺」を掲げ、水泳指導に全校をあげて取り組んでいる。６年生では１km遠泳が達成できるように、泳力の向上に努めている。水泳の全身的な体の動きが、児童の体力向上に大きく貢献していることは言うまでもない。体育科の学習では、６年間の段階的な指導の実現に向けて、本校独自の年間指導計画を作成し、各領域の運動を児童の発達段階に合わせて取り組むことができるようにしている。また、めあてをもって運動に取り組むことができるように、ホワイトボードや学習カードを活用するなどの工夫も取り入れるだけでなく、めあてに対しての振り返りの時間を設け、達成感を味わうことができるようにしている。さらに学習１コマあたりの運動時間を確保することで、持久力を高めていく。教職員については、児童の運動に対する自己肯定感を高めていくためにも、教材研究や各種研修への参加など、指導力向上を図っていく。また、各運動のスキルを指導するために、運動の特性を理解した上で、スモールステップで運動に取り組ませる計画を立て、児童が目標をもち、達成できるようにしていく。他にも場の設定の仕方や指導時の声のかけ方等の研修を行い、指導力向上を図っていく。

保幼小中連携の状況

●保幼小の連携は、平成30年度から今川学園認定こども園、新生保育園と連携接続事業を開始しました。指導者同士のつながりだけでなく、小学校において子どもたち同士の様々なふれあい活動を実施しました。小学生にとっては、相手を思いやりながら言葉がけをし、未就学児にとっては、入学までの不安を解消できる取組となりました。

●小中の連携は、６年生向けには田辺中学校生徒会のみなさんに来てもらい、中学校生活について話をしてもらったり、模擬授業を中学校の先生方にしてもらったりと、中学校進学に向けて連携を行っています。

子どもたちの様子・写真等

人と人とのつながり、友だちと友だちとのつながりを深めるために、田辺小学校では１・６年、２・４年、３・５年がペア学年と班をつくって活動する「ペア活動」を積極的に取り入れています。ペア班で活動する「ペア集会」や「ペア遠足」などの取り組みの中で、高学年のお兄さん、お姉さんの優しくて頼りがいのある姿を見て、低学年の子どもたちは育っていきます。今年度も児童会を中心に、児童の意見を取り入れながら様々な活動を積極的に行っています。

家庭・地域との連携

田辺小学校の子どもたちのために、地域やＰＴＡの方々はさまざまな取り組みをしてくださっています。子どもたちの登下校を見守る「おはようメイト」や「見守り隊」の活動をはじめ、地域やPTAが子どもたちが楽しめる行事も企画してくれています。また、地域の方々をゲスト･ティーチャーとしてお招きし、日常ではなかなか体験できないことにチャレンジしたり、貴重なお話を聞かせていただいたりし、たくさんのことを学んでいます。地域総合防災訓練も毎年行われ、各地域の防災リーダーさんとともに防災学習を行っています。